

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 27 年 1 月 29 日 (2015.1.29)

【公開番号】特開 2014-26766 (P2014-26766A)

【公開日】平成 26 年 2 月 6 日 (2014.2.6)

【年通号数】公開・登録公報 2014-007

【出願番号】特願 2012-164652 (P2012-164652)

【国際特許分類】

H 0 1 R 13/66 (2006.01)

H 0 5 K 7/20 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/66

H 0 5 K 7/20 B

H 0 5 K 7/20 G

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 9 日 (2014.12.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

この回路配置空間 1 1 3 内に配置された内蔵回路 1 5 は、M I D (M o l d e d I n t e r c o n n e c t D e v i c e) である。すなわち、この内蔵回路 1 5 は、樹脂成形体上に電極や配線パターンの形成や電子部品の搭載がなされている回路部品である。この内蔵回路 1 5 には、ほぼ平板の樹脂成形体 1 5 1 上にフォトカブラ 1 5 2 やその他の電子部品が搭載されている。第 1 のコンタクト 1 2 および第 2 のコンタクト 1 3 は、いずれもこの樹脂成形体 1 5 1 に接続されている。そしてこれら第 1 のコンタクト 1 2 と第 2 のコンタクト 1 3 の双方が、直接に又は他の電子部品経由で、その樹脂成形体 1 5 1 に搭載されているフォトカブラ 1 5 2 に接続されている。フォトカブラ 1 5 2 は、第 1 のコンタクト 1 2 と第 2 のコンタクト 1 3 を互いに電氣的に絶縁するとともに信号を光で中継する回路素子である。フォトカブラ 1 5 2 は、第 1 のコンタクト 1 2 と第 2 のコンタクト 1 3 とのペア 1 つにつき 1 つ備えられている。